

第 1 回 地域活動の場づくりに関するワーキンググループ まとめ

背景

- ・地域コミュニティの希薄化
- ・若い世代の大半は単身、勤め人、子どもなし
- ・活動の担い手はテーマ型が中心
- ・地縁団体の後継者も地域に必要
- ・地域特性に応じた支援
- ・地域福祉センターの多様性

検討事項・課題

- ①地域活動場所の確保について
 <地域福祉センターについて>
- ・福祉のイメージ
 - ・指定管理料に人件費がない
- <その他>
- ・地域活動を借りる家賃に苦労している。場所が見つからない
- ②参加を促す仕掛けづくり
- ・地域活動・イベント参加へのハードルの高さ
 - ・参加スタイルの多様性の確保
 - ・経済的な補填

改善の方向性

- ①地域活動場所の確保について
 <地域福祉センターについて>
- ・拠点の話を組織のあり方とセットで議論
- <その他>
- ・集いの場があることによる交流・アイデアの創出
- ②参加を促す仕掛けづくり
- ・IT 化の促進
 - ・若者のニーズ把握（10～20 代は就職、30～50 代は人脈）
 - ・地域と学生が出会う場面の創出
 - ・縦割りからごちゃまぜへ、
 - ・一過性のイベントから事業へ
 - ・自己犠牲にならない、win-win の関係づくり
 - ・居場所とやりがいをつくる
 - ・つなぐ人材（公務員、地域おこし協力隊）

具体的な事業やアイデア

- ①地域活動場所の確保について
- ・公共施設の複合化
 - ・センターの愛称募集
 - ・目的は非営利のまま、センターで収益事業を可能に
 - ・ニーズに合わせて目的別に場所を選択できるように
- ②参加を促す仕掛けづくり
- ・防災・減災等の世代縦断型テーマを取り上げる
 - ・仕事の細分化
 - ・活動内容の見直し
 - ・地域の困りごとを見える化
 - ・活動を広く周知
 - ・壁新聞・手渡し紙媒体
 - ・個人間のやりとりを増やせる仕組みづくり